

染谷東大教授ら 4研究者が受賞

日本IBM科学賞

日本IBMは10日、基礎科学分野で優れた業績を上げた45歳以下の研究者に贈る「日本IBM科学賞」の今年度の受賞者に東京大学の染谷隆夫教授(41)ら4人を選んだと発表した。受賞者には賞金300万円を贈る。授賞式は11月27日に日本IBM箱崎本社で開く。受賞者と研究テーマは以下の通り。▽物理分野は、東京大学の福島孝治准教授(40)「交換モン

テカルロ法の創出と展開」▽化学分野は、東京大学の大越慎一教授(44)「磁気化学を基盤とした新奇な磁性体の創出」▽コンピュータ・サイエンス分野は理化学研究所発生・再生科学総合研究センターの上田泰己プロジェクトリージャー(34)「大容量生命情報解析に根ざしたシステム生物学の開拓」▽エレクトロニクス分野は東京大学の染谷隆夫教授(41)「有機トランジスタ技術の開拓と柔軟なエレクトロニクス機能素子・回路への展開」。